

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和6年3月29日

事業所名 児童発達支援事業みらい

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---------|---|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | ・移動式のカーテンを使用する事で、部屋を二分割でき、適切なスペースを保つことができています。 | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | ○ | | ・職員配置基準を満たしており、利用児の在席が多い曜日には非常勤職員を1名雇用している。 | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | ・パーテーション等、床のマークで活動空間を区切り視覚化している。 | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | | ○ | ・毎朝、床のモップかけ等活動室や施設内の清掃を行っている。共有で使用するおもちゃは消毒液に着けた雑巾で拭いている。 | ・トイレが古く、手すり等を動かすと大きな音がする。男子トイレの臭いやトイレ全体の寒さを子どもが訴える時がある。今後子どもたちが過ごしやすい施設に環境を整えていく必要がある。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | ・活動の振り返りを中心に業務内容について頻繁に話す機会を設けている。 | |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | ・年に1回行っている。 | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | ・年に1回行っている。 | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | ・外部評価の実施はしていない為、業務改善につなげていない。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | ・児童分野研修で他事業所と定期的に支援について研修する機会がある。 | |
| 適切な支 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | ・半年に1度の保護者との面談や月に1度ケース検討会を開いて計画の方向性をチームで話し合っている。 | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | ・アセスメントシートを使用し、利用児の状態像の変化や把握をしている。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|--|--|---|-----|--|------------------------------|
| 援 の 提 供 | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | | |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | ・半年に1回モニタリングを行い、利用児の状態像に合わせた計画の見直し・作成を行っている。 | |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | ・計画や状態像に沿って、活動案をチームで話し合っている。 | |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | ・季節の創作やルール遊びを取り入れたりと工夫している。 | |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している | ○ | | ・集団療育を中心に行い、子ども達のそれぞれの課題に応じて個別課題の提供を行っている。 | |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | ・支援後の振り返りの後、翌日の活動内容の打ち合わせを行い、準備や役割分担をしている。 | |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | ・各グループごと、全体で1日の活動の振り返りを行っている。 | |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | ・担当職員が利用児の計画に沿った記録を毎日取っている。様子だけでなく、睡眠時間や食事量といった項目もあるため、必要に応じて項目を増やし記録を取り、支援の改善につなげている。 | |
| | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | ・6ヶ月に1度モニタリングをと保護者面談を行い、計画の見直しと作成を行っている。 | |
| | 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | ・担当職員と、児童発達管理責任者が参加している。 |
| ㉒ | | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | ・必要に応じて、連携を取り情報を共有している。 | |
| ㉓ | | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | | | |
| ㉔ | | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|--|----|-----|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | ・支援シートや引継ぎ連絡等で情報共有をしている。 | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | ・支援シートや引継ぎ連絡等で情報共有をしている。 | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | ・ひいらぎ主催の事業所連絡会に年に数度参加している。 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | ○ | | ・今年度は取り組んでいない。利用児のニーズを把握した上で今後検討していきたい。 |
| | 29 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | | ○ | | ・今年度は開催がなかった為、参加していない。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | ・特に帰りの引継ぎを丁寧に行い、ご自宅の様子、みらいでの様子を共有している。 | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている | | ○ | ・ひいらぎで行われた児童発達支援連絡会にて、家族支援についての勉強に参加した。 | ・勉強会での経験を活かし、今後は家族支援にも力を入れていけるように、職員間で知識を高めていく。またどのように支援を行っていくのかも具体的に決めていく必要がある。 |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | ・契約面談時に書面と口頭で説明している。 | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | ・6ヶ月に1度、モニタリングと保護者との面談を行い、面談の中では担当職員が支援内容に沿った説明を書面と口頭で説明を行い、同意を得ている。 | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | ・帰りの引継ぎや連絡帳にて、みらいの様子だけでなく、ご家庭の様子を把握し、支援の助言や相談に乗っている。必要に応じて、相談支援事業所に繋げている。 | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | ・1年に4回ほど、イベントを開催し、保護者に参加していただいている。イベントのプログラムや昼食場面で、保護者同士の交流が図れるように意識している。 | ・保護者会の開催は今年度行っていない。開催時期や方法を今後検討していきたい。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | ・保護者からの相談や申し入れがあった場合には、体制を調整に迅速に対応にあっている。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----|---|--------------------------------|
| | ③7 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | ・月に1回広報を配布し、写真を交えて発信を行っている。 | |
| | ③8 | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | | |
| | ③9 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | |
| | ④0 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | ・今年度は行えていない。 | |
| 非常時等の対応 | ④1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | | ○ | ・防犯、感染対応のマニュアルは周知が不十分と感じる。 | |
| | ④2 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | ・曜日を変えて年数回避難訓練をしている。 | |
| | ④3 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | ・調査票を年1回記入してもらい、把握している。 | |
| | ④4 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | | ・意思の指示書はもらっておらず、保護者との相互確認になってい |
| | ④5 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | ・日々の振り返りで情報の共有をしている。必要に応じて、書面にて記入し状況の整理と改善策について考え、実施している。 | |
| | ④6 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | ・年に1回、法人内で研修を行っている。研修で出た意見を職員同士で共有している。 | |
| | ④7 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | ・今年度該当児はいないが、昨年度該当児がいた時は行っていた。 | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表：令和6年3月29日

事業所名 児童発達支援事業みらい 保護者等数(児童数)20人 回収数15 割合 %

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|------------------|---|---|----|---------------|-----|-----------|---------------------------------------|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 15 | | | | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 12 | 1 | | 2 | | ・配置基準は満たしております。利用児の人数に応じては、非常勤職員を雇用し安全に支援ができるよう努めています。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 10 | 2 | | 2 | | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 14 | | | 1 | | |
| 適切な 支援の 提供 | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 15 | | | | | |
| | ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 14 | | | 1 | | |
| | ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 13 | | | 2 | | |
| | ⑧ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 13 | | | 2 | | |
| | ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 4 | 3 | 3 | 5 | ・健常児との交流に良い意義を見出せない子もいるので、どちらでも良いと思う。 | ・利用児にとってのニーズ把握を行いながら今後検討させていただきたいと思えます。 |
| 保護者 への 説明等 | ⑩ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 14 | 1 | | | | |
| | ⑪ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 15 | | | | | |
| | ⑫ | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか | 8 | 2 | 1 | 4 | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-------------|---|---|----|---------------|-----|-----------|---|--|
| | ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 ができているか | 15 | | | | | |
| | ⑭ | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか | 13 | | | 2 | | |
| | ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されて いるか | 6 | 4 | 2 | 3 | ・親同士でも気が 合う合わないがあ るので、特にあつ てもなくても良い と思います。 | ・保護者様それぞれにお 考えがあるかと思いま すので、ニーズ把握を行 い、保護者会や家族支援 の場の提供を検討してい きたいと思います。引き 続きイベントの開催は予 定しておりますので、是 非交流の場としてご活用 していただければと思い ます。 |
| | ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制が整備されているとともに、子ども や保護者に周知・説明され、相談や申入れを した際に迅速かつ適切に対応されているか | 13 | 1 | | 1 | ・STの相談をした 際に、すぐ返答し ていただき、アド バイスを頂けたの で助かりました。 | ・STやOT等の専門職の 配置をしていない為、希 望者には近隣の病院など をご紹介しております。 いつでも相談や質問など お受けしておりますので、 今後も迅速に対応して 参ります。 |
| | ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の ための配慮がなされているか | 14 | | | 1 | | |
| | ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要 や行事予定、連絡体制等の情報や業務に 関する自己評価の結果を子どもや保護者に | 13 | 1 | | 1 | | |
| | ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 14 | | | 1 | | |
| 非常時等 の対応 | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・ 説明されているか。また、発生を想定した訓練 が実施されているか | 11 | 2 | | 2 | | |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練が行われているか | 9 | 1 | | 5 | | |
| 満足度 | ㉒ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 12 | 1 | | 2 | ・まだ通い始めた ばかりで、始めは 泣くが、楽しそう に活動している。 ・毎回とても楽し そうに通所してい ます。 | ・みらいを利用してい ただきありがとうございます。 今後も子ども達が 「楽しい」と思える施設 を目指して、職員一同支 援力の向上、活動内容の 充実化をしていきたいと 思います。 |
| | ㉓ | 事業所の支援に満足しているか | 15 | | | | | |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。